

No.269



青森県理学療法士会ニュース

弘前大学大学院保健学専攻修士課程学生募集（現職理学療法士）および 保健学科理学療法専攻3年次編入学生募集（現職理学療法士）！！

弘前大学医学部保健学科理学療法専攻 主任 若山佐一

弘前大学では、現職の理学療法士の方々向けに、標記のコースを用意しております。

大学院修士課程は、今年からスタートし、現職の理学療法士が3名（青森2名、秋田1名）入学しています。理学療法士としての社会人経験が1年以上あれば、資格審査により、大卒や学士号がなくとも受験可能です。現職を継続しながら学べるように、夜間や土日開講の授業設定、八戸地区では、弘前大学八戸サテライトでの遠隔地授業を実施しています。また、通常2年間の修学期間を、同じ学費で3年間、4年間で修了する長期就学制度も設けています。大学院修士課程は、自分の興味ある領域を、より専門的に知識や技術を深めたい場合や、将来的に博士課程も見据え研究方法を学びたい場合などに最適です。勉強したい内容、指導を受けたい教員に事前に相談していただき、キャリアアップに向け是非受験を検討願います。

また、大学でもう一度しっかり勉強しなおしたい場合や、専門学校や短大卒業で大学卒業の資格、学士号を取得したい場合など、3年次編入学制度もあります。こちらも2年間の修学期間ですが、これまで入学した方々は、弘前近郊の病院などの施設で常勤や非常勤の理学療法士として働きながら卒業したり、現在学習を継続したりしています。必要な働く施設についてもご相談にのります。大学での学びを体験し教養を深めたい場合や、理学療法のある特定の領域の科目を再度じっくり勉強しなおしたい場合、卒業研究など研究の初歩から学びたい場合には3年次編入学制度が適切かと思えます。

それぞれ、ホームページ（HP）から学生募集要項が見られます。

大学院の資格審査の締め切りが9月2日、出願期間は、9月13日～20日、試験日は10月1日（土）英語、小論文、面接を実施します。昨年度との違いは、一般選抜、社会人選抜などの選抜方法に関係なく試験科目や選抜基準が同じことです。

HP：<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/kouhou/graduate-index.htm>

3年次編入学の出願期間は、8月22日～26日、試験日は9月10日（土）面接のみです。HPでは入学した方からの声、メッセージが載っていますので参考にしてください。

HP：<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/pt/3rdYear/3rdYear05.htm>

新入会員紹介（中弘南黒・西北五地区）

黎明郷リハビリテーション病院 相馬千尋

はじめまして。黎明郷リハビリテーション病院の相馬千尋です。青森県立保健大学出身で、弘前生まれ、弘前育ちの23歳。いつも好きな音楽のことばかり考えています。つい最近 iPod も購入し、通勤の車のなかで熱唱するのが日課です。

最近の流行は五本指ソックスで、毎日快適に過ごしています。香りもややカットされているようで、病院全体で流行の兆しが見られます。あと、ラーメンと温泉も大好きなので、どこかオススメのところなどありましたら、紹介していただければと思います。

PT となって早2ヶ月、わからないことばかりで、たくさん先輩方に助けていただいています。これからもっと勉強して成長していきたいと思っておりますので、皆様、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

訂正とお詫び

前回発行された県士会ニュース（NO.269）の新人紹介（中弘南黒・西北五地区）のところで黎明郷リハビリテーション病院（現：弘前脳卒中センター） 相馬千尋先生原稿が抜けており、大変失礼致しました。今月号に載せるとともに併せてお詫び致します。

新入会員・転入会員紹介（三八・上十三地区）

三沢市立病院 原 悠子

青森県士会の皆さん！ やっとかめー？

いきなり尾張弁で挨拶してしまいました。私はこの春、弘大を卒業し、三沢市立三沢病院に就職しました**奇体**の新人の原悠子です。産まれも育ちも愛知県一宮市で、尾張弁をこよなく愛す 23歳です。

就職して3ヶ月が過ぎましたが、まだまだ分からないことしかありません。少しずつ成長していけるよう励んでいきたいと思っておりますが、胸の成長は止まってしまいました。その決意として机の上には書家のあいだみつをの「一生勉強、一生青春」という言葉を飾っております。その隣にはあいだみつを先生の「一生デブ専、一生貧乳」というありがたい言葉も飾っております。合コンでは男性の好み（10万グラム以上！？）は誰ともかぶらない自信はありますが、仕事の上で皆様にはご迷惑をかけることがあるかと思っておりますが、ご指導よろしく願いいたします。

八戸赤十字病院 三浦潔子

はじめまして、八戸赤十字病院の三浦潔子と申します。県立保健大学を卒業し四年間の一人暮らし

しを終えて、実家からバスを乗り継いで約一時間かけて通勤しています。早起きは苦痛以外の何物でもありませんので、朝は全て緻密に計算された時間に基づいて行動し、睡眠時間を一秒でも長くする努力は怠りません。

大学時代は年間30本以上ライブに通いました。趣味というよりはライフワークです。しかし最近では月1本程度にペースが落ちてしまい、すっかり運動不足です。これから仕事と共にこちらも充実させていきたいと考えております。PTとして、社会人として、まだまだ未熟な私ですが、御指導のほどよろしくお願い申し上げます。

八戸赤十字病院 長根 亨

はじめまして。八戸赤十字病院の新人の長根亨と申します。北海道千歳リハビリテーション学院の卒業で、現在は八戸市に一人暮らしをし、車は買ったのになぜか徒歩で通勤しております。出身は三戸町ですが北海道という土地に強い憧れがあり学校は北海道の学校を選びました。実際に北海道に住んでみると雄大な自然とおいしい食べ物に感動の連続ではありましたが、冬の寒さと雪の多さに圧倒され雪の少ない地元に帰ってくる決意をしました。こんな私ですがさまざまな面で成長して

いきたいと考えておりますのでご指導のほどよろしくお願い致します。

青森労災病院 阿保 美由紀

初めまして。青森労災病院の阿保美由紀です。出身は弘前市で、この3月に青森県立保健大学を卒業しました。南部の真ん中で、津軽弁丸出しの毎日を送っています。この機会に南部での津軽弁普及を狙っています。んだっきゃ。そして密かに南部弁も覚えようと必死です。近々、新車を買う予定なので、八戸周辺をぐるぐるドライブしようと計画しています。出不精を直さなければいけません。わいは。

働き始めて4ヶ月、初めは学生の頃との違いに戸惑いましたが、ようやく仕事に慣れてきたように思います。しかし、分からない事の方が多く、勉強勉強の毎日です。皆様、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

青森労災病院 乙供 寿里

初めまして。青森労災病院新人の乙供寿里です。私は八戸市（しかも青森労災病院）生まれの八戸育ち、同期の阿保ちゃんの津軽弁と日々戦っています。一度大学を経てから岩手リハビリテーション学院に入学し、少し遅ればせながらの社会人デビューです。

学生時代はシルバー病院に実習に行った事もありましたが、なんとシルバー病院の川口先生、寅谷先生は高校の同級生で、そのお二人がバリバリと仕事をしている様を見て、感心すると共に出遅れを感じてしまいました。

働き始めて4ヶ月、仕事は楽しくて仕方ありません。八戸は川口先生をはじめとした級友や、仕事仲間など飲み仲間も多くいるので、暇な時がないというほど仕事もプライベートも充実しています。あとはときめきが少々欲しい年頃です。

職場はいろいろな症例の患者様がいて、とても勉強になります。今後一生懸命勉強していきたいと思いますので、みなさんご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

なかざわスポーツクリニック 畠 英里

はじめまして。なかざわスポーツクリニックの畠英里です。出身は宮城県です。高校卒業後、道産子に憧れ海をまたいで北海道へ行き、この春、札幌にあります吉田学園リハビリテーション専門学校を卒業しました。就職先を八戸に決めた時には、さすがに両親も「お前は放浪者か」と苦笑していました。しかしスポーツ分野に進みたいという

思いと、行ったことのない環境に身を置くことに魅力を感じて決めました。

スポーツクリニックに勤務してから約4ヶ月、まだまだ焦りが抜けず接戦の毎日ですが、PTとして成長していけるよう努力していきたいと思います。御指導の程、よろしくお願いいたします。

十和田東病院 小比類巻 豪

はじめまして。春から十和田東病院に勤務している小比類巻豪といいます。出身は三沢市で、仙台医療技術専門学校夜間課程の第1期生です。現在もう1人のPTの先生が産休に入られているために、PTは私1人の状態で、とても心細い日々を送っています。しかし、毎日いっぱいいっぱいになりながらも、他のスタッフの方々に支えられてなんとか頑張っています。

まだまだ知識、技術不足でご迷惑をかけることが多々あると思いますが、精一杯努力してまいりますので、ご指導のほどよろしく申し上げます。

南郷メディエルデプラザ 南 真貴

はじめまして。出身校は仙台医療技術専門学校夜間課程です。

学生時代は、日中なんちゃって看護師、夜間の授業で睡眠学習する日々でした。

現在は9年ぶりの田舎実家生活で、早く都会に脱出したいと考える毎日です。が、職場に出勤しデイケアの利用者様に会うと、心が癒され「何とかしなければ」という気にさせられてしまいます。まだまだ分からないことが多く、勉強不足で迷惑をおかけすると思いますが、日々の再学習と自己学習で努力したいと思いますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。

シルバー病院 階上 弘樹

はじめまして。4月より新人理学療法士としてシルバー病院に勤務しています。出身校は栃木県栃木市にあるマロニエ医療福祉専門学校です。学校名が珍しいためか、職場では『マロニー』と呼ばれています。自分は未だにこう呼ばれることに対し抵抗を感じています。自分のことを親しみを込めてあだ名で呼んでくれるこの職場はほとんどが女性スタッフで、自分はまだこの中で縮こまりながら日々訪れる新しい現象にむかって挑戦しています。今、興味のあることは『MINI』です。道路を走っていて MINI に出逢うたびに自分の心も車体も惹かれていってしまいます。いつの日か自分が MINI に乗ることを夢見てコンビニでおもちゃの MINI を買って集めています。

理学療法士としてまだまだ未熟ですが、新人らしく新しい視点で仕事に取り組んでいきたいと思っています。研修会に積極的に参加し、まずは興味のあることを探していきたいと考えています。よろしくお願い致します。

シルバー病院 川村 志保

青森県士会の皆様、こんにちは。5月からシルバー病院に勤務しております、川村志保です。出身地は福島県福島市、出身校は岩手リハビリテーション学院で、そのまま、岩手県の栃内第二病院に約8年間勤務しておりました。

家庭の事情で、今春から八戸の方へ引っ越してきました。現在、愛車で盛岡や福島に行ったり、こちらでも活動範囲を徐々に広げているところです。ですが、職場や環境の変化になかなか適応しきれず、シルバー病院の皆様にはご迷惑おかけしております。試行錯誤しながら、視野を広げ、私なりに努力していきたいと思っています。皆様にも、これからお世話になることが多いと思います。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

岸原病院 浜谷 美那子

はじめまして。青森県立保健大学を卒業、岸原病院所属の浜谷美那子です。紹介する趣味も特技もないので、これまでの自分の一日を振り返ってみようかと思えます。

ほらほらと起こされても、すやすやと二度寝をしまい、はらはらとバス停に急ぎ、ふらふらと岸原病院にたどり着きます。ゆらゆらと院内を移動し、あわあわと仕事をして、そんな様子をおやおやと見守られながら、すかすかの頭にほらほらと教科書を読ませます。たらたらと帰途につき、そろそろと鮫の夕焼け道を歩くと、今日もようよう終わったなあと、枕にすりすり頬を寄せる安堵が、ながながと伸びる影の中にぼやぼやと浮かんで来て、微笑みを浮かべるにこにこです。

そんな毎日を送っている自分でありませう。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

第2回県士会研修会の印象記

7月10日(日)にむつ市の公済会館で行われた第2回研修会に参加しました。一コマ目は「理学療法データを読む・使うためのデータ解析学 データ・リテラシーのすすめ」について弘前大学の対馬先生より主に統計学の講義をしていただきました。臨床ではデータ解析について接する機会が少なく、文献を読む時ぐらしか触れることが無いため、今回の講義で見方や考え方が少し違ってくるように思いました。

二コマ目は「理学療法現場での医療過誤についての法的責任」で主に医療事故について県立保健大学の岩月先生より講義していただきました。交通事故と対比して説明してもらうことで理解しやすく、また4つの事例検討では我々が臨床での業務でも医療ミスにつながるがあるので常に注意を怠ってはいけない事を考えさせられました。

国民健康保険大間病院 仁木 勝

三コマ目の「職業人としての心構え」ではむつ総合病院の大久先生より社会人としてのマナーのあり方について講義していただきました。人とコミュニケーションをとる時に留意する事は接遇に関する事で挨拶や言葉遣いなどありますが、特に挨拶をすることで信頼関係が得られやすいので心がけていかなければならないと感じました。また、「ホウ(報告)、レン(連絡)、ソウ(相談)」は職場間の連携が円滑になるので大事だと思いました。

以上、簡単ですが私なりに感想を述べましたが、県内の研修会の大半は青森や弘前で行われることが多く下北にいる私にはなかなか足を運びづらいですが、今後も積極的に参加していきたいと思えます。

- ご案内 -

生涯学習基礎プログラム2005年度更新のご案内 (2005年は更新年です)

2005年は生涯学習基礎プログラムの更新および専門領域研究会の更新を行う年です。該当者は必ず申請して下さい(専門理学療法士の先生方が未更新の場合は専門理学療法士の更新年に更新が出来ませんのでご注意ください。)

更新申請が必要な会員(更新フローチャートを、生涯学習便り 23に示す):2000年更新者及び新人教育プログラム(以下、新プロ)を2003年度までに修了したもの。

- 新プロ 1999年(平成11年)度以前修了(基礎プロ2000年度以前開始(新プロ特例措置者も含む)):10単位以上
- 新プロ2000年(平成12年)度修了(基礎プロ2001年(平成13年)度開始):8単位以上
- 新プロ2001年(平成13年)度修了(基礎プロ2002年(平成14年)度開始):6単位以上
- 新プロ2002年(平成14年)度修了(基礎プロ2003年(平成15年)度開始):4単位以上
- 新プロ2003年(平成15年)度修了(基礎プロ2004年(平成16年)度開始):2単位以上

2005年度休会中会員の取り扱い:2005年休会中会員については、2000年~2009年の20単位のうち、休会年×2単位を減じた単位数を2010年に報告する。

更新方法:

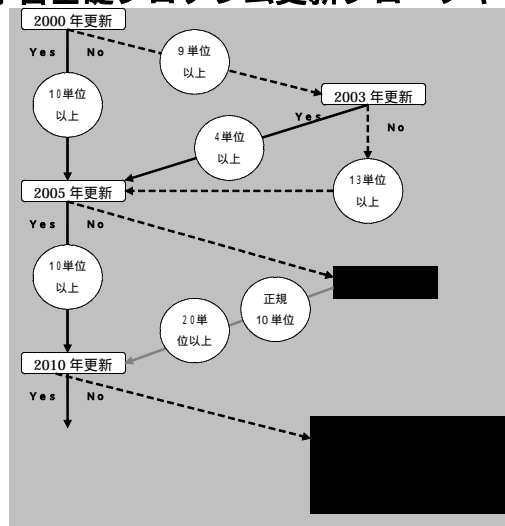
提出書類

- 1) 申請書
- 2) 生涯学習印の押印された生涯学習手帳のコピー
生涯学習手帳に検印されていない場合は、学会、研修会、講習会等の参加証、領収証、修了書あるいは抄録
- 3) 返信はがき(表に、送付先住所及び氏名を明記)
提出先:〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-8-5
日本理学療法協会事務局

提出期限

平成17年5月~12月31日消印まで。更新結果については、返信はがきで通知いたします。
生涯学習基礎プログラム更新申請書は、31巻7号・32巻1号協会ニュースに掲載されております。

生涯学習基礎プログラム更新フローチャート



2005年生涯学習基礎プログラム更新申請書

(専門領域研究会の更新も含む)

私は生涯学習基礎プログラムの履修状況を報告いたしますので、更新をお願いします。

平成 年 月 日

勤務先 _____
 住 所 _____
 会員番号 _____
 氏 名 _____ 印

年度	履修単位	協会入会年	昭, 平	年度
平成 12 年度	単位	新人教育プログラム修了年		平成 年度
平成 13 年度	単位	専門領域登録年		平成 年度
平成 14 年度	単位			
平成 15 年度	単位			
平成 16 年度	単位			
合 計	単位 (必要な単位 : 10 単位以上)			

単位計算	参加単位	発表加算
協会主催の学術 (専門領域含む)	2 単位	4 単位
ブロック主催の学術	2 単位	3 単位
士会主催の学術	1 単位	2 単位
隣接学際領域主催の学術	1 単位	2 単位

提出書類

- 1) 申請書
- 2) 生涯学習手帳の (履修記録) のコピー
- 3) 返信はがき (表に送付先の住所。氏名を記載)

提出期限

平成 17 年 5 月 ~ 12 月 31 日消印有効

リハ・カレントトピックス&レクチャー 第17回日本リハビリテーション医学専門医会学術集会

日時：平成17年10月22日（土）～23日（日）

会場：ぱ・る・るプラザ

内容：

10月22日（土）

シンポジウム（13:10～15:40）

嚥下障害のリハビリテーション

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 「非VF系摂食・嚥下機能評価法」 | 馬場 尊（藤田保健衛生大学） |
| 2. 「VEのこつと臨床的応用」 | 藤島 一郎（聖隷三方原病院） |
| 3. 「VEのこつと臨床的応用」 | 石井 雅之（川崎医科大学） |
| 4. 「摂食訓練の展開と嚥下障害食」 | 藤谷 順子（国際医療センター） |

パネルディスカッション（15:50～18:20）

臨床研修必修時代におけるリハビリテーション科専門医養成システムについて

10月23日（日）

特別講演1（9:30～10:30）

「リハビリテーション科専門医」のIdentityと求められる専門医像
宮野 佐年（東京慈恵医科大学）

特別講演2（10:35～11:55）

「電気診断学における最近の進歩と臨床応用」
馬場 正之（弘前大学医学部神経統御部門）

ランチョンセミナー（12:05～13:05）

「脳卒中急性期リハビリテーションupdate」
石神 重信（浜松市リハビリテーション病院）

一般学術演題（13:10～16:00）

リハ専門医の学会ですが、専門医以外の方の参加も歓迎いたしております。

参加費：リハ専門医会会員以外（PT，OT，ST，Nrs，学生等）1,000円

問い合わせ先：青森県立中央病院 リハビリテーション科 山田 伸

〒030-8553 青森市東造道2-1-1 TEL 017-726-8188

～ 理学療法士求人情報～

医療法人芙蓉会

職 種：理学療法士、作業療法士

勤務形態：常勤、非常勤

業務形態：訪問リハビリテーション業務

勤務時間：月～金 8:30～17:00

土（隔週） 8:30～12:30

その他：施設見学は随時受付しております。

訪問リハビリテーションに関心のある方、是非御連絡下さい。

問合せ先：青森市雲谷字山吹93-1

Tel:017-764-1815

医療法人芙蓉会 本部 事務局長 穴水明雄

大里脳神経リハビリテーションクリニック

募集職種：常勤理学療法士 1名

待遇：当院規定により優遇（詳細は面談にて）

当院紹介：平成16年12月1日に開院した脳神経疾患診療と外来リハビリテーションを重視する無床診療所です。訓練室は理学療法、作業療法、言語聴覚療法に対応した面積と設備となっております。意欲のある方の応募を期待しています。

応募方法：下記までお気軽にご相談ください。

〒031-0816 青森県八戸市新井田西3丁目15-15

TEL:0178-30-1112 FAX:0178-30-1600

担当：院長 大里 孝夫

【財務部通信】

〈17年度会費納入について〉

会費自動引き落としし者へ

平成17年度の自動引き落としが 5月27日(金)に行われました。通帳を確認し、引き落としされなかった方は下記に振り込みして下さい。

会費自動引き落とし以外者へ

会費納入方法は下記の通りです。早めに振り込んで下さい。

士会費 12,000 円の振込先 振込み手数料 210 円

みちのく銀行 黒石支店 店番 024 口座番号 0117013

名義名 青森県理学療法士会 代表者 佐藤 洋

協会費 11,000 円の振込先 振込み手数料 120 円

郵便振替で 口座番号 00130-3-78642

加入者名 社団法人 日本理学療法士協会

通信欄に

記入例 [平成17年度会費 1名分 佐藤洋 8692] 協会会員番号

と記入して下さい。払込人住所氏名は、施設名の住所氏名で結構です。

尚、領収証が必要な方は、下記へ御連絡下さい（昨年、連絡を下された施設には入金を確認できれば送付します）。また、どうしても6月15日まで納入できない人は、自動引き落としにして下さい（振込手数料無料、公共料金と同じく忘れなくて済む）。連絡を下されば引き落としの申込書を送らせて頂きます。どうぞ御協力お願いします。

不明な点は 国立青森病院 リハビリテーション科
佐藤 洋
TEL 0172-62-4055(271)

【ニュース編集部通信】

原稿受付に関するお知らせ

N0.269よりニュース編集部中弘南黒・西北五地区担当者の勤務先、並びにメールアドレスが下記のとおり変更となっております。

連絡先をお確かめの上、お問い合わせまたは原稿の送付をお願い致します。ご不明な点などにつきましては、編集部長または各支部担当者までお問い合わせ下さい。

次の原稿締切日は、平成17年8月23日（火曜日）です。
原稿を依頼された方、もしくは掲載記事をお持ちの方は、次頁の各支部担当にフロッピーディスク、FAX、E-mailのいずれかにて、送付して下さい。

青森県士会ホームページアドレス
<http://www.aa.alpha-net.ne.jp/ptaomori/>

§ ニュース編集部支部担当者 §

東青・むつ下北：工藤 寛教（あおもり協立病院）

〒030-0847 青森市東大野2丁目1番地10号 TEL 017-762-5500 FAX 017-729-3260

E-mail: celeste_urg1@mail.goo.ne.jp

（電話・FAXは病院、メールアドレスは工藤先生個人のものであります。ご注意ください。）

三八・上十三：川口 恵理（シルバー病院）

〒039-1161 八戸市河原木字八太郎山10-444 TEL 0178-28-4000 FAX 0178-20-4962

E-mail: ptsilver4000@yahoo.co.jp

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

中弘南黒・西北五：藤田 俊文（弘前脳卒中センター）

〒036-8104 青森県弘前市大字扇町一丁目2番地1 TEL 0172-28-8220 FAX 0172-28-7780

E-mail: pt_staff@hirosakistroke-c.jp

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

事務局ニュース編集部長：梅村 孝博（東北メディカル学院）

〒039-1522 五戸町字苗代沢3-6 TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034

E-mail: pt.umemura@rinken.ac.jp

編集委員：伴 久美子（黒石病院）
工藤 寛教（あおもり協立病院）
藤田 俊文（弘前脳卒中センター）
川口 恵理（シルバー病院）
豊嶋 大輔（八戸城北病院）
加藤 義人（なかざわスポーツクリニック）
久保 稔（八戸整形外科クリニック）

外交局広報部（HP 担当）：安田 友久（青森労災病院）

////////////////////////////////////
編集後記

所属が『財団法人 黎明郷 リハビリテーション病院』改め『財団法人 黎明郷 弘前脳卒中センター』の藤田です。今後、中弘南黒・西北五地区の原稿は弘前脳卒中センターの藤田までお願いします（メールアドレスも変わったのでお間違いなく・・・）。

話は変わりますが、先日韓国の学生が実習に来ました（2 日間ですが）。まず困ったことはコミュニケーション！！日本語でも韓国語でもありません・・・英語です。世界の共通語なので当然といえば当然のことなのですが。実は私も普段から 2 カ国語を操っているんですよ！「日本語」と「津軽語（弁）」ですけど・・・。やっぱり、もっと積極的に英語に触れる機会が必要だと改めて感じました。みなさんも機会があったら英語に限らず外国語に触れてみてはどうでしょうか？（文責：藤田）
////////////////////////////////////

奥 付

編集；青森県理学療法士会
発行；PT 事務局・ときわ会病院リハビリテーション科内
〒038-1216 南津軽郡藤崎町榊字亀田2-1
PHONE・FAX 0172-65-3698
E-mail；ptaomori@m16.alpha-net.ne.jp